令和４年１０月３日

保護者の皆様（家庭数配布）

西東京市立谷戸第二小学校
校　長　　鈴木　優介

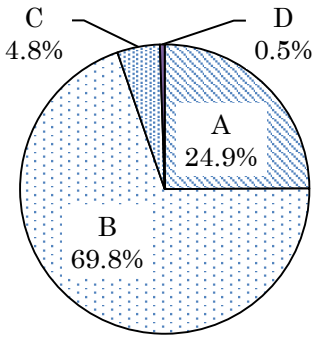
令和４年度　前期学校評価アンケートの結果

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。さて、７月末にご回答いただきました学校評価のお礼とご報告をいたします。この結果は、保護者の皆様からの貴重なご意見として受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。なお、本校のホームページにも公開しますので、ご覧ください。
（配布数５３９、回答数３８０）

１　保護者アンケートの結果

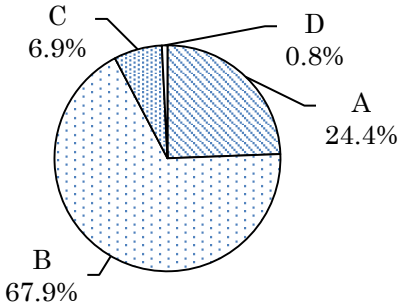
（　Ａ＝とてもそう思う　Ｂ＝そう思う　Ｃ＝あまりそう思えない　Ｄ＝そう思えない　）

１　学校は、児童の学習規律を確立し、基礎学力の定着を図っている。



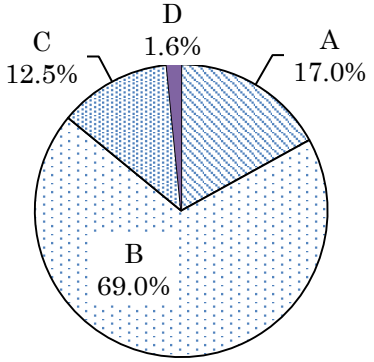
Ａ・Ｂ合わせて９４％以上の高い評価をいただきました。新型コロナウィルス感染症に伴う活動の制限はまだまだ続いていますが、児童全員が安心して心身ともに充実した学習活動に取り組めるよう、今後も家庭と連携しながら教職員一丸となって努めてまいります。

２　学校は、児童の規範意識の向上を目指し、適切なあいさつや言葉遣いなどの礼儀を身に付けられるよう、学習・生活指導に取り組んでいる。



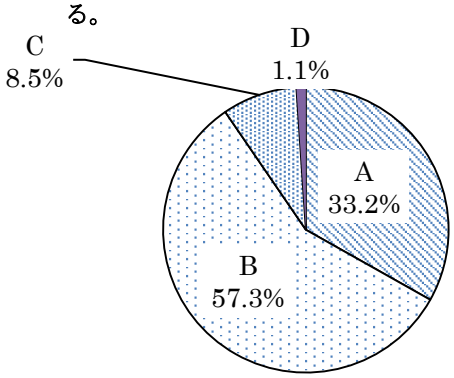
Ａ・Ｂ合わせて９２％以上と高い評価をいただきました。全校朝会等を通じて挨拶の大切さを呼びかけたり、「あいさつ週間ポスター」の作成をしたりするなど、礼儀を身に付けるための取り組みを充実させました。引き続き、児童の規範意識の向上を目指し、よりよい指導ができるよう努めてまいります。

３　学校は、思いやりのある児童の育成に努め、いじめの未然防止、早期発見に取り組んでいる。



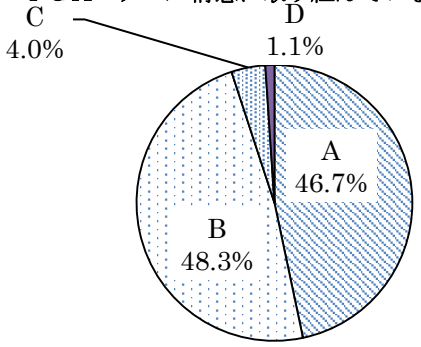
Ａ・Ｂ合わせて８６％の評価をいただきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、子供たち自身にかかるストレスも大きくなっていることが考えられます。今後も、子供たちの心のケアを大切にしながら、思いやり溢れる教育活動を目指していきます。

４　学校は、兄弟学級を中心とした異学年交流等を通して、児童と児童、児童と教師のかかわりを重視した教育活動に取り組んでいる。



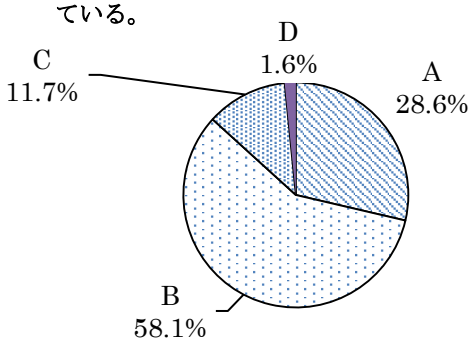
Ａ・Ｂ合わせて、９０％以上の高い評価をいただきました。新型コロナ感染防止対策を行い、谷戸二子どもまつりやなかよし班活動など、異学年交流を行いました。今後も児童同士、教師とのかかわりを大切に、教育活動に取り組んでいきます。

５　学校は、タブレットを活用し、西東京市ＧＩＧＡスクール構想に取り組んでいる。



Ａ・Ｂ合わせて９５％以上の評価をいただきました。教員一同、試行錯誤しながらタブレットを活用しています。今年からは、GIGA・情報活用能力研究指定校として、より一層工夫して取り組んでいるところです。情報モラルについても合わせて指導していきます。

６　学校は、保護者や地域の方々にボランティアやゲストティーチャーを依頼したり、学校公開・ホームページ・メール配信を使ったりして、地域に開かれた教育活動を実施している。



Ａ・Ｂ合わせて８６％以上の評価をいただきました。今年度も、制限された中で授業公開を行うことができました。ホームページの更新やメール配信等でも開かれた教育活動を引き続き実施していきます。

２　保護者アンケートの分析

今年度もコロナ禍のため、一昨年度までの質問内容と変更しています。今回のアンケートでは、全ての項目で「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて約８割を超える評価をいただきました。

「あまりそう思えない」「そう思えない」と評価いただいたところがある部分については、謙虚に受け止め、学校運営の工夫・改善に努めてまいります。

３　児童対象アンケートの結果

評価 ４ そう思う　３ だいたいそう思う　２ あまりそう思わない　１ そう思わない	４	３	２	１
①　あなたは、授業が始まる前に、きちんと座り、学習の準備を整えられましたか。	41%	48%	9%	2%
②　あなたは、楽しく、意欲的に授業や学習に取り組めていますか。	53%	35%	10%	2%
③　あなたは、あいさつをしたり、言葉遣いに気を付けたりして生活できましたか。	48%	41%	9%	2%
④　あなたは、気持ちよく学校生活を送るために、きまりやルールを守ろうと心がけましたか。	64%	32%	3%	1%
⑤　あなたは、自分や友達の命や心を大切にしていますか。	82%	16%	2%	0%
⑥　授業では、自分の思いや考えをノートに書いたり、友達と話し合ったり、発表できましたか。	49%	33%	13%	5%
⑦　いいところや頑張ったことを先生や友達同士で認め合ったり、褒め合ったりしましたか。	46%	36%	12%	6%
⑧　あなたは、きまりを守って、すすんでタブレットを活用することができましたか。	71%	23%	5%	1%

４　児童アンケートの分析

８項目全てにおいて８割から９割の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えています。これは、学校生活の多くの場面で満足傾向にあると捉えられます。特に⑤の項目「生命の尊重」については９４％の児童が「思う」と評価しており、「特別の教科　道徳」などの授業をはじめ、学校生活の中で他者を思いやって関わることができているものと考えます。

しかし、およそ２０％の児童が「ややそう思う」「思わない」としている項目⑥や⑦については、友達との対話などを工夫したり、タブレットなどの活用を工夫したりしていきたいと思います。

5 学校評価のまとめについて

この評価の結果を受けて、学校教職員で話合いを深めるとともに、学校運営連絡協議会委員による学校関係者評価委員会にて討議していただくことになります。学校としての特色は２学期も充実させ、教育活動に反映させていきます。今後の課題と判断されるものについては、具体的な対応を進めてまいります。

6 保護者からのご意見について

・学習の取り組みの働きかけ、生徒との関わり方などがとても素晴らしく、そのおかげで子ども自身が校内活動に積極的に取り組むことができている・積極的に異学年交流を行っているのがとても良いなと思いました。これからもっとタブレットを様々なことに活用していけるといいなと思います。

・先生方、学校関係者様のおかげで毎日、安心して学校に通えております。授業参観等、子供が授業に取り組む姿を見ることが少ないのが残念です。子供の話を聞いていると、キーボー島や校外学習などタブレットを活用した学習にかなり意欲的に取り組めているようです。

・興味を引くような映像を先生自ら配信していただいたり、学習面での児童の良い例などを取り上げていただいたり、興味ややる気、本人の励みにもつながる形でタブレットを活用いただいていて、とてもよいと思います。お忙しいなか、継続して取り組んでくださっていることに感謝いたします。

・交通擁護さんがいつも優しく声をかけてくださり、子どもたちが安全に登下校できていることを大変嬉しく思います。見守りをありがとうございます。

・学校のホームページの写真での更新、校長先生のつぶやき、先生の学級通信で学校の様子がよくわかり、親子で話題にすることも多く、毎日楽しみにしています。社会で自分の考えをまとめて文章にすることができるようになったり、総合で興味あることについて積極的に調べる行動力がついたり、本人はさまざまな経験ができ自信になっているようです。先生方、細やかなご指導、いつもありがとうございます。

・あまりそう思えない・というのは、思えない・というのではなく、正直、よくわからない・という回答の意味が強いです。そう思う・と回答できるほど、なにか実感を受ける決め手がなく、このような回答となってしまいすみません。

⇒谷戸第二小学校のホームページに子供たちの活動の様子などが毎日更新されているので、ぜひご覧ください。学年からのお便りなども合わせてご覧ください。

・挨拶をする児童が少なくなっている気がします。数年前は、大人よりも先に自発的に挨拶してくれていましたが、今は大人が挨拶しても素通りする児童もみられます。コロナ禍で人との関わりが浅くなっているからでしょうか。寂しい現状です。

⇒あいさつについては学校全体で大切に取り組んでいるところです。今後も継続して指導していきます。

・1～4 については保護者から観察できない項目でありますので、わからないという選択肢も欲しかったです。また、集計ですが、配布数、回収数等、公表されていないので、結果を渡されても結果の解釈ができません。

⇒ご指摘ありがとうございます。今回から回収数などをお示ししております。

・まだコロナ禍ということもあり難しいかもしれませんが、できれば、学校公開で参観できる人数を各家庭二人までにして頂けると有り難いです。

⇒学校としても、なるべく多くの方に参観していただきたいと考えています。参観人数についてはその時々の状況から判断してお知らせしていきます。ご了承ください。

・いつも子どもたちをしっかりと見守っていただきありがとうございます。他学年との交流についてあまり子供から話を聞かないので、コロナ禍でなかなか難しい部分もあるのかと推察します。コロナ禍が下火になってきましたら、他学年との交流でより多くの気付きの場が生まれるとよいかと考えています。

⇒ありがとうございます。他学年とのかかわりも大切にしております。縦割りでの仲よし班活動など、工夫しながらできる範囲で実施していきます。